

梅雨の季節です

大雨にご注意

日常の心がけ

大雨や長雨による洪水や土石流、がけ崩れなどの自然災害が発生しやすい季節です。これらの災害は、予測のつかない地震と違い、テレビ・ラジオから得られる気象情報の活用や、早めの避難などにより被害を最小限にすることが出来ます。

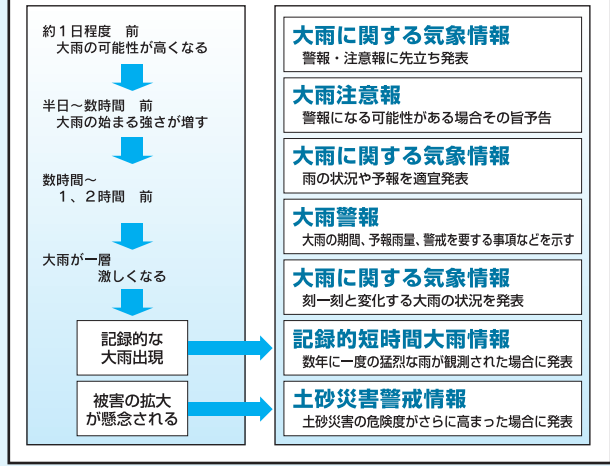
- ▼ 気象情報に気をつける
- ▼ 水・非常食・常備薬や携帯ラジオ・懐中電灯などを準備しておく
- ▼ 避難場所の確認
- ▼ 近隣交流



気象台から発表される気象情報

徳島地方気象台から発表される気象注意報・警報などは、地域住民に注意を呼びかけ、災害時の被害を最小限にすることを目的に発表していますので、住民の皆さんは情報収集を心掛けましょう。

気象情報発表のタイミング例



【大雨洪水対策】

大雨情報の事前収集に努め、早めに家財道具や食料品などを高所へ移動しましょう。また、浸水防止に土のうを準備することも必要です。▼最大降雨時期が夜間に予想される場合は、早めに避難準備を済ませましょう。高齢者や身体の不自由な方は、明るいうちの避難を心掛けてください。



▼河川上流部の方、農家の方は洪水時に材木類・わら・ビニール・不要になった家具類などを流されないようにしましょう。下流部の浸水家屋に流れ込んだり、排水ポンプの排水能力の低下を引き起こす原因になります。▼やむを得ず冠水した道路を避難する場合は、濁流により足元が見えにくくなっているため、長い棒などで足元を確認しながら歩きましょう。冠水時に避難する際、

【雨の強さと降り方】

1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気づく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川ようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプランニング現象)	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要 下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要